

2025年

3月

南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

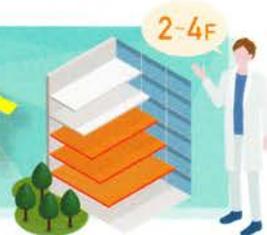
第259号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510



精神科療養病棟の紹介



◆ 精神科療養病棟とは

当院の2階・3階・4階が精神科療養病棟となります。

入院時にはほとんどの方が6階の「精神一般病棟」や5階の「認知症治療病棟」へ入ることになります。

新規の入院患者様や一時的に症状が強く出ている患者様が入院されているのに比べ、療養病棟では急性期症状から回復し、症状が安定した患者様や長期の治療・療養が必要な患者様が主に入院しております。

認知症の患者様も症状が落ち着けば療養病棟に移動することもあります。また、移動される際に主治医が入院時とは別の医師に変更となる場合もあります。

◆ 病棟の環境について

患者様が安全な療養生活を送れるように清潔な環境を整えています。



◆ 病棟の役割

療養病棟では、症状が安定した患者様や長期入院による治療・療養が必要な患者様が多い傾向にあり、ご自宅・介護施設など地域での生活や社会復帰に向けて、医師の診察の他にも日常生活の訓練（SST）や精神科作業療法（OT）を行い、1日の生活リズムを整えながらより良い療養環境で患者様の症状に合わせた様々な治療を行っております。

退院に向けた支援連携

- ◆ お薬の自己管理の開始
- ◆ 外泊・外出の練習
- ◆ 近隣の介護施設を患者様本人・ご家族と共に見学
- ◆ 患者様の受け入れ先となるご家族、施設関係者との打ち合わせ

…などを行いながら退院に向けて進んでいきます。



デイケアとつながる

退院後の生活支援の一環として当院のデイケア見学も用意されています。

人との交流や活動を通じ、再入院を予防する事が期待できます。

もし再入院となった時も比較的短い期間で退院できることが多いです。



◆ 病棟職員の言葉

2階病棟・看護副主任

石川 愛

入院生活の悩み、退院後の生活や施設入所に伴う環境変化への不安など、様々思いを感じている患者様に対して、病棟職員を含め様々な職種の職員が寄り添いながらより良い療養環境の提供を目指し、実施しております。



4階病棟・看護副主任

佐藤 葵

療養病棟では急性期病棟と異なり患者様の入退院も多くない為、一人一人に密着した看護を目指しています。患者様のこれからの人生を、その人がその人らしく生きるためのサポートを行うことを目標に、職員はその手助けをさせて頂いております。



◆ 精神科療養病棟の一日の流れ

6:00 … 起床

7:00 … 検温

7:30 … 朝食

8:00 … ラジオ体操

9:00 … 診察

10:00 … 精神科作業療法

12:00 … 昼食

13:30 … 精神科作業療法

16:00 … 診察

18:00 … 夕食

21:00 … 就寝



作業療法は強制参加ではなく、治療の一環として医師による指示のもと実施しており、病状によって見学だけなども行うことができます。

穏やかに、ゆったりとした一日を過ごすことができる病棟となっております。

職員一丸となり、患者様の「その人がその人らしい生活を送る」ことができるようサポートさせていただきます。



入院患者様の作業療法中の共同製作です。

● ふれあい南伊豆ホスピタル
静岡県賀茂郡南伊豆町青市848



2025年3月発行 Vol.259

【監修】山本 善治

【構成・編集】横田 晴輝

【デザイン】F&Y

【作業協力】支援センターふれあい

利用者の皆さん

ふれあい南伊豆ホスピタル

広報委員会

